



研究テーマ

1 挿し木による果樹苗生産方法の開発

2 優良台木を利用した新たな果樹栽培方法の開発

3 組織培養による果樹苗生産方法の開発



鉄村 琢哉

てつむら たくや
農学部
植物生産環境科学科

教授

キーワード

カキ、クリ、ブドウ、モモ、オウトウ、リンゴ、落葉果樹、亜熱帯果樹、熱帯果樹、挿し木、種苗生産、植物組織培養、クローン苗、台木、接ぎ木

特許情報・共同研究・応用分野など

I. 特許
スノキ属植物の育苗方法
(特許5177349号)
II. 品種登録
カキ *Diospyros* L.
'MKR1' 第23898号
(わい性台木)
III. 共同研究
☆農林水産省 新たな農林水産政策推進する実用技術開発事業「家庭用果樹苗生産にも対応したカキわい性台木挿し木育苗成技術の開発」(平成21年度～平成23年度)

研究概要

研究対象は落葉果樹(カキ、クリ、ブドウ等)が中心です。ただし、果樹種苗生産に関わる材料としてはマンゴーやライチ等、(亜)熱帯果樹も対象としています。

主に栄養繁殖(挿し木、接ぎ木、組織培養)が研究テーマですが、栄養繁殖した果樹(台木)がどのような成長をするのかを確かめるための栽培試験も行っています。

1 挿し木による果樹苗生産方法の開発

果樹の台木(カキ、クリ、オウトウ、モモ、リンゴ等)の挿し木による繁殖方法を開発し、優良台木のクローン苗生産システムの開発に関する研究を行っています(図1)。



図1 挿し木発根したカキ台木 'MKR1'

2 優良台木を利用した新たな果樹栽培方法の開発

我々の開発したカキわい性台木'MKR1'を用い、現在、カキ主産県で公設試験研究機関において連絡試験が行われています。図2は11年生の'MKR1'台木樹'平核無'で、脚立を使わずに作業ができる高さに抑えられています。宮崎大学の果樹園以外でもこのようにわい化成長するのかどうか、実証栽培園を拡大し、実用化へ向けての検討を行っています。



図2 11年生カキ'平核無'(左、実台木樹; 右、'MKR1'台木樹)

3 組織培養による果樹苗生産方法の開発

果樹[カキ(図3)、クリ、ブルーベリー、ナシ、モモ台木、リンゴ台木、カキ台木、クリ台木等]組織培養による大量増殖方法(マイクロプロパゲーション、マイクロ繁殖)を開発し、台木を含めた苗生産システムを開発する研究を行っています。

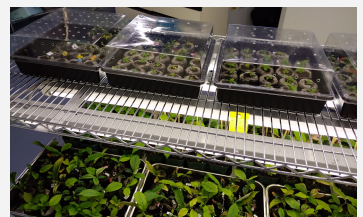


図3 鉢上げ・順化中のカキ 'MKR1' 培養体

ホームページ

宮崎大学農学部植物生産環境科学科果樹園芸学教育研究分野
<https://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/pomology/>

技術相談に応じられる関連分野

- ・果樹の栄養繁殖(挿し木、接ぎ木、組織培養)
- ・カキのわい化栽培

メッセージ

- ・台木を含めて増やしたい果樹があればお問い合わせ下さい。
- ・果樹の苗木生産および販売を行う宮崎大学発ベンチャー企業 (株) RIFNUMの技術顧問をやっています。果樹栽培の相談に対応しますので、いつでもお問い合わせ下さい。